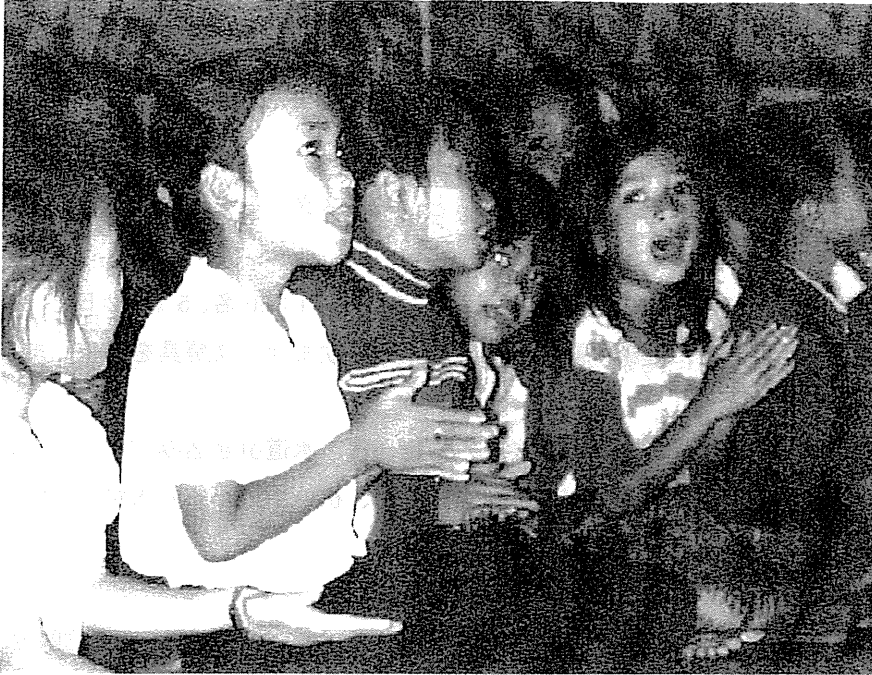




図書室で歌う
子供たち
サニャブリ県
サニャブリ小学
校

(友野氏撮影)

01年4月

8月1日に若松記念病院第3会議室において第9回じゃっど定期総会が開催されました。

総会は、活動報告・決算、活動計画・予算ともに承認されました。内容は別紙資料のとおりです。

総会当日は、会員のほとんどが、お仕事が終わってからの出席で、遠くは始良郡の溝辺町や、伊集院町からかけつけてくださいました。また、青年海外協力隊OBの松野広樹氏、松下友美氏や、瀬戸山弘子氏、富園美香氏が新しく会員になりました。

総会の中で、「毎年、会長負担金が大きいのでは？ 会として資金を得る事を考えてみるのもよいのでは？」というご意見がありました。じゃっど事務所には、会長がラオスで購入した素敵なラオスの手織の布（服地）がたくさんあり、いろんな会合やイベントに持って行って販売を試みっていますが、なかなか布が売れません。

（収益金はラオスの活動資金にあてる）『布を購入したいけれど、洋服に仕立てが出来ない。』とたいていの方がおっしゃいます。

そこで、どなたか洋裁のできる方を捜しています。ご存知ありませんでしょうか？じゃっど事務局までご連絡下さい。何かバザーなどして活動資金を得る事を考えてみるのもよいのではと思います。会員の皆様、何かよいアイデアなどがありましたらご意見をお寄せ下さい。

また、総会後の布の販売では、アジア小物の紹介をかねてアジア雑貨ウエア「クルンテープ en」の富園美香さんや、自分でラオスの布でワンピースやバッグを作られた児玉タツ子さんにご協力いただきました。

総会にご出席いただいた会員の皆様、ここにあらためてお礼申し上げます。 （宮脇美智子）

以下、総会の出席者です。（敬称略）

隈元郁子（溝辺町）、牧之角朋子（伊集院町）、松下友美（薩摩町）、松野広樹（串木野市）児玉タツ子、山本恵美子、三本釈世、瀬戸山弘子、小幡順子、久木野勲、古田宣稔、川畑善照、安部良宣、神崎侯至、富園美香、仮屋洋子、田中律子、久木野恵、若松大介、岩月洋孝、岩月たち子、若松郁子、帖佐茉莉花、宮脇美智子、帖佐理子、(川内市)

総会報告

① 国外活動

A. 学校保健セミナー

ヴィエンチャン特別市サイセタ郡で 100 名、サニャブリ県サニャブリで 70 名、ボケオ県フアサイで 80 名の教師がセミナーを受講しました。
受講した先生の所属する学校へ、体育の道具（ボールなど）やポスター等を配布しました。

B. 健康診断

ヴィエンチャン、サイセタ郡の 10 校の小学校で 2 月 10 日、11 日に 1,366 名、5 月 12 日と 13 日に 1,347 名が受診しました。健康診断と一緒に健康の話をして、駆虫剤を飲ませ、文房具を配布しました。

C. 机いすと学校整備

フオントン小学校、ドンニャイ小学校、アモン小学校、に壁、窓、水道引き込みパイプとタンク、アモン小学校の机、いすが、終了しました。ドンニャイ小学校、机いすを配布します。（壁ができてから搬入します。）

D. ジャッドツアー

日本の学校教諭の都合に合わせて 8 月に行う予定であったが、ラオス国内の安全度が危険度 1 に指定されたために延期した。

3 月 29 日に出発しバンコク（マヒドン大学、熱帯医学研究所）ヴィエンチャン（小学校 6 校、セミナー視察、教育省、保健省、日本大使館、JICA）サニャブリ（小学校 2 校、中学校 1 校、教育局、保健局長）、ルアンパバーン（経由地点、世界遺産観光）の行程で、4 月 5 日朝帰国した。

参加者：中村睦子氏、藤島美由紀氏（ジャッド会員）

永井氏、友野氏（バンコク熱帯医学研究所、JICA）

E. JICA 小規模開発パートナー事業

鉤虫コントロールプロジェクトを応募し、受諾された。藤島美由紀氏がラオスに滞在して進める予定にしている。（帖佐 理子）

② 国内活動

本年度は学校の教師への広報を積極的に行い開発教育を行うと言う案を立ててスタートいたしましたが、ラオス国内の爆弾テロ事件等で日本人教師による学校保健セミナーが中止になり、計画通りに活動出来ませんでした。

帖佐会長は、病院の医師としての多忙な仕事をこなしながら、宮崎県の高鍋町や、鹿屋市、川内市で講演をし、熊本市での NGO 懇話会に出席しました。また、鹿児島市の鹿児島県立武岡台高校の創立記念式でも講演しました。高校生を対象にした途上国等の講演は開発教育の大きな第 1 歩だったと思います。

純心大学祭（川内市）、かごしま地球人まつり、ボランティアセミナーにおける活動紹介（鹿児島市）等の各イベントに多くの会員の皆様にご参加いただきました。

ジャッドニュースレターの印刷の際には会員の神崎侯至氏に大変お世話になりました。（宮脇美智子）

平成 12 年度会計報告

1. 収入の部

前年度繰越	278,918
会員会費（2,000×175 名・年）	405,030
寄付金	315,435

机いす募金	302,500
ボランティア貯金の寄付に係る配分金	960,000
会長負担	320,000
雑収入	52,334
受け取り利息	424
計	2,634,641

2. 支出の部

ラオス支出

学校保健セミナー	653,604
健康診断	433,132
机いす、学校整備	385,293
スタッフ派遣	383,290
計	1,855,319
繰越	56,211
合計	1,911,530

国内

広報	96,115
通信	105,868
開発教育	24,120
他の NGO 連携	38,000
事務用品	27,047
写真	8,881
総会、会議	32,922
国内交通費	69,400
その他	14,698
ボランティア貯金への返還金（平成 11 年度分）	99,129
計	516,180

支出合計 2,427,710

3. 繰越

収入	2,634,641 円
支出	2,427,710 円
繰越	210,321 円

会計監査報告

平成 12 年 7 月 1 日から平成 13 年 6 月 30 日の期間のじゃっどの支出決算に関し、会計帳簿とその証拠書類および関係書類を監査した結果、確かに相違ないと認められましたので、ここに報告します。

平成 13 年 7 月 31 日

幹事

安 部 良



本年度もボランティア貯金寄附金の配分金をいただくことが出来ました

7月4日に川内郵便局局長室において、配分通知式がありました。各新聞社の取材があり、写真入りで西日本新聞に紹介されましたのでお知らせいたします。全国の各郵便局に配分団体、配分内容のパンフレット、月刊誌「地球市民」等あります。ご購入下さい。また、南日本新聞（7月19日付け）の「記者の目」に、じゃっどの活動の紹介がありました。



国際ボランティア貯金の寄付金配分決定通知書を受け取る「J ADDO」の帖佐代表（左）

平成 13 年 7 月 5 日

西日本新聞

川内市に拠点を置いて国際的に活動する医療ボランティア団体「J ADDO」（帖佐理子代表）が、郵便貯金の利子の一部を元に運営されている総務省の「国際ボランティア貯金」の本年度寄付金配分先に選ばれ、川内市の川内郵便局で四日、帖佐代表に百万六千円の配分決定通知書が渡された。

J ADDO が同貯金から寄付を受けるのは今年一九九二年に設立され、同市の若松記念病院で連続八回目、今や活動費の約半分を同貯金に動員しており、帖佐代表は「本当に助かってます。大切に使います」と話していた。

本年度、同貯金には全国から六億六千万円以上の寄付が集まり、九州では九団体に配分。県内では J ADDO だけが選ばれた。

国際ボランティア貯金
「J ADDO」へ寄付金
帖佐代表 「毎年、助かってます」

川内市の医療奉仕団体

平成 13 年 7 月 19 日

南日本新聞

「屋根と柱しかない学校が多いです」と言いながら、子どもが健康診断を受けている写真を見せられた。見ると確かに壁がない。日本ではあまり見かけない光景だ。

今月初め川内郵便局で、国際ボランティア貯金配分金の配分先に選ばれた川内市のボランティア団体「J ADDO（じゃっど）」代表・帖佐理子さんから、ラオス国ビエンチャン市の小学校の話を聞いた。

「校舎は住民意識の向上を図るため、材料だけ援助して保護者が建てる。トイレや黒板は、机など設置する」「子どもの健康診断は毎年七校から十校決めて二年続け

記者の目

活動続ける「じゃっど」

翌年は新しい学校を半分追加する。また教師を対象にした保健教育や教育方法を中心にしたセミナーも開く。

子どもが健康に育ち、初等教育を受けられるようボランティア活動を続ける。設立して九年の「じゃっど」は鹿児島県で文字とおり「そだ、育成」の意味。川内市の若松記念病院に事務局をおき、現在会員は同市を中心に全国に二百三十五人いる。

愛知県の新会員が三月末から六日間、帖佐代表に同行、同国を視察した。報告書は小学校教師のセミナーで、講師が少ない中で効率よく手洗いうる方法は？と指導していた。とある。

外から見ると日本が、鹿児島がよくわかる、という体験された話を聞き、報告書を読むのも刺激を受ける。

（川内支社・上室 稔）

【事務局からのお知らせ】

感謝の気持ちとともに、ご支援、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下、敬称略）

■新規会員（2001年6月～2001年8月）

小濱泰昭（仙台市）、瀬戸山弘子、川田篤子、外菌龍子、富菌美香、松永良恵（川内市）、松野広樹（串木野市）、松下友美（薩摩郡）、

■平成13年度会費（2001年6月～2001年8月）

田中律子、児玉充敏、帖佐宗親、橋口正美、橋口喜久、久木野勲、西谷ひとみ、神崎侯至、川畑善照、川野治美、愛甲勝、古田宣稔、土川京子、諏訪元則子、中村吉治、新原千恵子、関隆子、安藤ツギエ、牛之浜妙子、矢野千鶴子、永山ゆかり、若松あつ、若田吉朗、菱刈昭郎、菱刈明子、瀬戸山弘子、川田篤子、外菌龍子、神彰男、二木種生、上床久子、上床聖子、安部良宣、庵地紘一、上野昌子、佐藤章子、是枝久子、木原兼博、山陸裕康、上脇ゆきみ、松元邦明、有村英子、中野育子、ハートフル（株）、内田耕也、宮脇美智子、岩月洋孝、岩月たち子、山本恵美子、富園美香、仮屋洋子、松永良恵、青崎シズ子、若松郁子、帖佐理子、室屋熊治、室屋久喜子、愛甲明実、牧田弘子、小倉邦子、小幡順子、三本釈世、渡辺裕子、横林宙世（川内市）、中村睦子（曾於郡）、隈元郁子、増田孝子（始良郡）、尻無浜むつみ、有川清、小屋一美、松野広樹（串木野市）、牧之角朋子（日置郡）、松下友美（薩摩郡）、上原憲一、藤本英雄（出水郡）、中村律子（出水市）、太田有紀（阿久根市）、小手川清隆（鹿屋市）、帖佐宗親、納光弘、酒井マリ、馬場寛利、松元美津子、鮎川睦子、坂上恵子、南武嗣、桑原美智子、夏越久美子、久木田泰子、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子、豊平美和子、内村キミ（鹿児島市）、河野章、伊瀬知倫子（宮崎県）、川添恵、中村武（佐賀県）、岩崎岩男（大分県）、園田義明（長崎県）、姫野治子、山下巖、中司裕子、杉原敏彰（福岡県）、熊谷銀次郎、松尾敏明（兵庫県）、鈴木忠夫、橋本晴美、濱田真寛（大阪府）、藤島美由紀（愛知県）、森田正人（静岡県）、鳥山信子、鮫島久志、鮫島節子、前原よし（千葉県）、大月時子、高野真綾、斉藤洋史、森田由夫（埼玉県）、宇田川国男、国田宏、松本貞治、和地平十郎、帖佐徹、中村安秀、若松裕子、松山容子、松元力、宇津木和子、小林義郎、青山一正、茂木隆、茂木純子、高木史江（東京都）、宇井豊、望月明子（神奈川県）、鈴木琴子（茨城県）、店網国二（栃木県）、小濱泰昭、小濱千枝（宮城県）、鎌田到（北海道）、野口奈佳恵（中国）

■寄附金（2001年1月～2001年8月）

小幡順子、神彰男（川内市）、坂上恵子、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子（鹿児島市）、坂詰恭子、若松裕子、松元力（東京都）、（株）翔葉（川内営業所）、鮫島久志、鮫島節子（千葉県）、

■机、いす募金（2001年6月～8月）

坂上恵子（鹿児島市）、若松あつ、岩切孔、岩切清子（川内市）、清水英孝（千葉県）店網国二（栃木県）

《会費納入のお願い》

平成13年度（平成13年7月1日～平成14年6月30日）会費をまだ納入されていない会員の皆様は、早めに納入お願いいたします。2年以上未納の会員の方は、会員継続の意思がないとみなしますので、なにとぞ会費の納入をよろしくお願いいたします。年会費はお一人2000円です。

[納入方法]

郵便振替	口座番号	02050-2-4746
現金払い（若松記念病院となり寿泉堂内じゃっど事務局まで）		

【事務局からのお願い】

◆ ボランティア募集：当日お手伝いしていただけますか？お気軽に事務局までご連絡下さい。

① 「純心大学学園祭」に参加します。

日時：10月27日（土）～10月28日（日） 場所：川内市天辰町純心大学構内

* 当日2～3時間ほどのお手伝いでも結構です。宜しくお願いします。

《イベント情報》 鹿児島県国際交流協会のイベントをお知らせします。

「2001 年ボランティア国際年記念講演」

演 題 「留学生を支え続けて 30 年」

演 者 東 文子 〈財〉国際交流協会カウンセラー、ほのぼの地球家族代表

日 時 平成 13 年 10 月 27 日 〈土〉 14 : 00 ~ 15 : 40

場 所 鹿児島商工会議所ビル 〈アイムビル〉 4 階

問合先 財) 鹿児島県国際交流協会 TEL 099-225-3279 FAX 099 - 225-3284

アジア、アフリカからの留学生とその家族を支え続けて 30 年。留学生たちからは「お姉さん」と慕われている東さん。故郷を離れ、厳しい条件の中で一生懸命勉学に励む留学生にとって、“東さんは“光”であり“心の拠り所”でもある。その経験を基に真の国際交流とは何か、国や年齢に関係なく喜びや苦しみをともに分かち合える場をつくりたいという東さんの思いを語ってもらいます。

〈じゃっどツアー予定〉 10 月 28 日 ~ 11 月 4 日

第 1 日 28 日 (日)	福岡 1200—バンコク 1550 TG649 バンコク 1815—ウドンタニ 1920 TG018 ウドンタニ ノンカイ着	ノンカイ
第 2 日 29 日 (月)	ノンカイ発 国境 ヴィエンチャン着 小学校視察、机いすに記名 ワットプラケオ見学	ヴィエンチャン
第 3 日 30 日 (火)	小学校視察 日本大使館、JICA 事務所訪問 机いすに記名	ヴィエンチャン
第 4 日 31 日 (水)	タットルアン祭り ヴィエンチャン — ルアンパバーン — サニャブリ	サニャブリ
第 5 日 1 日 (木)	サニャブリの小学校視察 サニャブリ—ルアンパバーン	ルアンパバーン
第 6 日 2 日 (金)	ルアンパバーン — ヴィエンチャン — バンコク	バンコク
第 7 日 3 日 (土)	ワットプラケオ ブムルンラート病院見学	機内泊
第 8 日 4 日 (日)	バンコク 0100—福岡 0800 TG648	

総会



お忙しいなか、お集まりいただき、活発な意見交換がありました。その中で“ジャットど”会を開こうと決まりました。詳細は以下です。

“ジャットど”会

奇数月の第3火曜日、夜7時から8時、

ジャットど事務局（若松記念病院向かい神田ハイツ1階 寿泉堂）にて、

“ジャットど”会を開催することになりました。

“ジャットど”の活動を話し合う場です。どうぞ、どなたでもいらしてください。



“ジャットど”が仕入れたラオスの布と、タイから届いた「えん」の品物の展示、販売もしました。

9月18日に“ジャットど”会を開きました。ジャットど新聞についてA4の大きさに4ページ、中身はいくつかのコーナーを設ける、どんなコーナーがいいかを次回の“ジャットど”会に持ち寄る。と、決めました。どうぞ、新聞についてのご意見をお寄せください。

また、メールアドレスをお持ちの方は、お知らせください。

“ジャットど”事務局 asianoko@ml.satsuma.ne.jp



2001年3月31日
ヴィエンチャン
サイセタ郡
アモン小学校

グループワーク



手洗い実習



ソムチット医師に
よる講義